

今年度の研修会予定

第1回 7月3日(金)・31日(金) 9:00~17:00

平成27年度
地域連携のための相互研修会
(神奈川県委託事業 神奈川県看護協会共催)
定員 40名(募集終了)

第3回 11月19日(木) 14:00~16:00

地域連携シンポジウム

(神奈川県看護部長会第2地区との合同開催)
今年度も慶應義塾大学教授
原 礼子先生を座長にお迎えして、
シンポジウムを開催予定です。

第2回 9月16日(水) 14:00~16:00

医療安全研修「チームステップス」

好評の医療安全研修、今年度は横浜市立大学附属病院安全管理者菊地 龍明先生から医療安全におけるチームステップスについて学ぶ機会をいただいております。



第4回 12月24日(木) 14:00~16:00

リフレッシュ研修「アンガーマネジメント」

今年度は、横浜市立大学医学部看護学科精神科看護学講師の田辺 有理子先生に「アンガーマネジメント」についての研修をお願いしております。



新役員紹介

(役員広報)
独立行政法人地域医療機能推進機構
横浜中央病院附属看護専門学校
戸田 法子

(役員書記)
神奈川県立循環器呼吸器病センター
向出 哉美

(副支部長)
神奈川県警友会けいやう病院
佐藤 一代

(支部長)
横浜市立大学附属病院
杉浦 由美子



(役員書記)
横浜南共済病院
井出 ひとみ

(役員会計)
横浜市立みなど赤十字病院
角藤 厚美

(役員会計)
済生会横浜市南部病院
神保 美香

(副支部長)
横浜市立大学附属病院
高橋 宏子

退任ごあいさつ

地方独立行政法人神奈川県立病院機構
神奈川県立循環器呼吸器病センター
安江 佳子

2年間の任期はとても有意義でした。研修の企画運営やシンポジウムなど、イベントを通じ、多施設の看護師の活躍を知ることはとても刺激になりました。専門職として歩み続ける職能団体に加入することの意味を実感させていただきました。この機会をいただきました皆様に感謝いたします。

横浜南共済病院 佐々木 智子

2年間支部役員として務めさせていただきました。活動を通して支部の役割を学び、また地域連携シンポジウムの企画など様々な貴重な体験をさせて頂きました。

支部長をはじめ、ご指導してくださった皆様に深く感謝いたします。

伝言板

看護協会・横浜第2支部への
ご要望・ご意見等を下記に
頂きますようお願いします。

〒231-0037
横浜市中区富士見町3-1
TEL:045-263-2901
FAX:045-263-2905
Mail:kanakan1@basil.ocn.ne.jp

編集後記

昨年度は、自分自身が「元気になろう!」をテーマに研修会を企画いたしましたが、今年度は周りの人たちも含め「みんなで元気に!」をテーマに、新メンバーを迎える役員一同今年度も「元気」に皆様のお役に立てる支部活動を目指す所存です。



YOKOHAMA 第二支部だより

中区・西区・南区・港南区・磯子区・金沢区

July
2015.7 No.60

公益社団法人 神奈川県看護協会

横浜第二支部

発行責任者 杉浦 由美子



ごあいさつ

横浜第二支部長 杉浦 由美子

梅雨の候、ますます御健勝のこととお慶び申し上げます。

さて、今年度も6月9、10、11日に、日本看護協会通常総会、6月19日に神奈川県看護協会総会が開催され活動が始まりました。横浜第二支部におきましても6月29日に総会を開催し、今年度の事業計画を報告させていただきました。会員の皆様には、横浜第二支部活動へのご理解、ご協力に感謝申し上げます。

今年度日本看護協会通常総会では、坂本すが会長から、看護の将来ビジョン「いのち・暮らし・尊厳をまもり支える看護」が力強く語られました。2025年超高齢社会に向かって看護協会では「地域包括ケアシステムの構築と推進」「看護職の労働環境の整備の推進」や「看護職の役割拡大の推進」「少子超高齢社会に対応する人材育成」など様々な取組がされていきます。

横浜第二支部においても、社会背景、動向をつかみ、会員・非会員を問わず看護職皆様のニーズをしっかりと把握し、事業を進めて行きたいと考えています。医療福祉現場は、ますます変革をもとめられ、新しい情報の共有とともに邁進してまいります。ストレスフルな時代でもあり、多忙を極めていると思われますが、情報共有や世の動向を知る機会にもなります。ぜひ看護職の皆さまの参加をお待ちしております。

最後に、役員の皆様方のご尽力により今年度の支部だよりが発行でき、個人および各施設へお届けできましたことを感謝し、ごあいさつとさせていただきます。

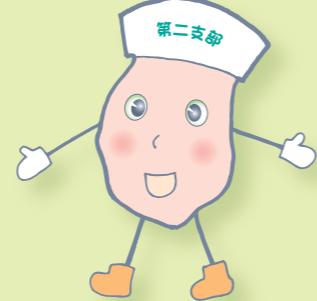
施設紹介



国家公務員共済組合連合会 横浜南共済病院

「新棟を立ち上げて」

病棟長 佐々木 智子



国家公務員共済組合連合会 横浜南共済病院は、昭和14年6月に創設され、丸74年の月日が流れました。様々な病棟を取り壊しては継ぎ足し継ぎ足してきましたが、このたび平成27年5月に新棟(中央棟)を開設いたしました。

中央棟開設にあたってのコンセプトとして①急性期医療の充実②災害への対応③患者に寄り添う医療としました。①急性期医療の充実では、救急センターのバックに20床の救急病棟を看護一単位として配置し、患者情報共有などスムーズに図れます。また手術室(11室)や心臓カテーテル室はICU/CCU病棟と同フロアで、緊急性の高い患者や重篤な患者に迅速に対応できます。②災害への対応では、中央棟すべてオープンスタッフステーション(上写真)とし、災害時にはフロア全てで患者対応が出来るようになっています。また津波対策としてサーバー室や変電室が3階に置

かれていること、電源を2電源からとっているのも特徴です。③患者に寄り添う医療では、スタッフにナースコールと連動したスマートフォンを携帯してもらい、ナースコールの対応がスマートフォンで出来るようになりました。以前はどこの病棟でもあったナースコールボードを廃止し、スマートフォンでナースコールを受けることで、より患者さんのニードに素早く対応することが実現できました。患者さんを待たせることなく対応できるのは看護師としても患者さんを身近に感じる嬉しいシステムです。

時代に応じた最新にして最良の医療設備に囲まれながらも、看護部は「患者さんの視点に立て考え、患者さんの気持ちを大切にし、患者さん中心で安全で信頼される看護が変わらず提供できる環境を作りたい」と日々精進しております。

患者さまのニーズに応えた
安全で良質な医療を提供するために



支部大会の様子

日時：平成27年6月29日 14:00～16:00 場所：神奈川県総合医療会館

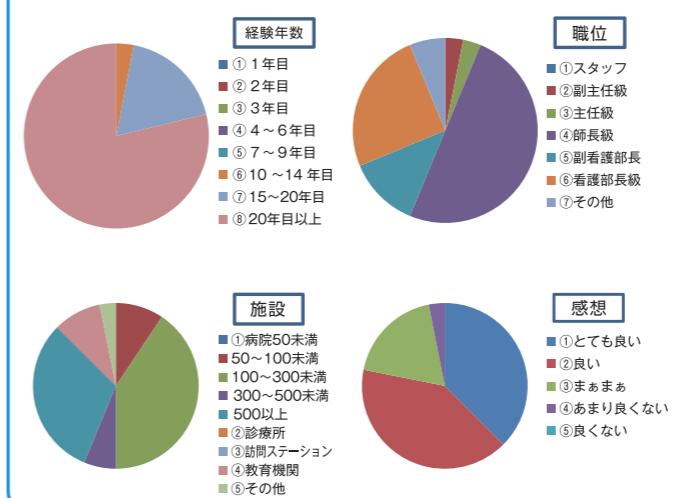
平成27年6月29日(月)に横浜第二支部の支部大会が行われました。冒頭で神奈川県看護協会 篠原弘子会長より、「横浜は二支部ありその会員数は約13,500名であり、全国有数の会員数を誇る。その中で医療・福祉と様々な場で看護職の活躍が期待されておりそのためには個々がそれぞれの力を発揮できるよう、支部活動においては更に期待されるところが大きい。」とのご挨拶がありました。

また、講演会では横浜市立大学医学部看護学科基礎看護学教授 勝山 貴美子先生から「保健医療 福祉を巡る環境の変化と看護管理」をテーマに医療法の改正と医療計画、今後の方向性についてわかり易く説明をしていただきました。



研修のアンケート結果

研修参加者 39名 (アンケート回収数 33件)



今回の講演会に対する感想

- 日本の医療は地域包括ケアにかえてきているが、これがいつまで続けられるのか、変わらぬのか、落ちついても変わっていくのではと思った
- 人材育成について今日の話の中にヒントがあった
- 講義の内容がとてもわかりやすかった
- スライドのデータの文字が小さく、全く見えなかった。内容そのものは学びになったが、講師の言葉について行くのに精いっぱいだった
- 今回の話は概論的なものであったため、もう少し深みを期待していた
- 世界の情報などもあり興味深かった
- 内容がとても重く、深いものだった
- 広い視野で考えることを再認識できた
- 海外の視点も含めて、たくさん提言を提供いただいた
- 急なテーマの変更があったが、とても興味深く聞いた

関心のあるテーマ

- 第二支部の看・看連携ビジョンがあれば聞きたい
- もっと今の世の中で求められることを知りたい
- 医療法の改正、障害者病棟、医療療養病棟など急性期以外の改正について
- 今回、中止になった診療報酬関連の講演(2)
- 人材育成について
- 2015年以降を考慮した高齢者の終末期のあり方